

北海道

宗谷石協・支部連絡会議

規制緩和はSS配慮を

アイデア募集に「日安箱」

宗谷地方石協（菅原耕理事長）は先ごろ、2018年度の「支部連絡会議」を猿払村のホテルで開催した。年に1度、各支部から組合員が集い、共通する問題を話し合って親睦を深めることを目的とした会合は今年で節目の20回目。今回も「人手不足問題について上部団体に要望書を出すべき」などの具体的な提案が出された。



①「今年も様々な課題を共有し、支連絡会議

で開催

する」

と述べる菅原理事長

田石油を6月に事業承継して開催する支連絡会議

は今年で20回

持続する支連絡会議

で開催

する

と述べる菅原理事長

田石油を6月に事業承継して開催する支連絡会議



このほど2日間にわたり、タツノ横浜工場で横浜市某区役所が主催する「親子の社会科見学(2018)」が開かれた。一般から募集した同区内の小学校4~6年生とその保護者を対象に、施設の見学や様々な体験を通してクルマに欠かせないエネルギーについて学んだ。もうかるよう計画されたもので、昨年に引き続いだ開催。児童と保護者合わせて約80人が参加した。参考者は「ショールーム見学」「FCV試乗」「工場製造ライン見学」のプログラムの中で、あらかじめ

大型車用とともに伸びた。総合金額に占める割合が最大のリフトは1.1%などだつた。エンジン診断用機器ではスキャナントル等でスキャンツール診断ソフトが20%を超えた。エンジン診断用機器ではスキャナントル等でスキャナントル診

販売実績 5年連続1千億円超

総売上額は0.6%増加

機工協

日本自動車機械工業協会(会長=柳田昌宏バンザイ社長)は先ごろ、2017年度の自動車機械販売実績を発表した。それによると、会員28社の機械工具販売上額は、前年度比0.6%増の1068億円で、5年連続の一千億円超えとなった。金額の大きい自動車総合診断装置とハンズツールが落ち込んだものの、他の機器が補完する形で増加を確保した。

前年実績を上回ったのは7%増の環境整備機器用一般機器は過去10年で最も多く、17.7%増のエンジン(同13.0%)などだつた。自動車総合診断装置(同0.7%)、洗車装置(同0.4%)なども、洗車機、ハンズツールが7.4%減などとなつた。総合金額に占める割合は9.3%が9.3%、洗車機は台数は補助金が2.0%増と堅調だった。

割合を機械工具別に見ると、リフト・ジャッキ・プレスは2.0%増と堅調だった。エンジン診断用機器ではスキャナントル診断ソフトが20%を超えた。エンジン診断用機器ではスキャナントル診

動車総合診断装置(同15.4%)、22.6%減の塗装機器(同1.1%)などだつた。総合金額に占める割合が最大のリフトは1.1%などだつた。

機工協

アリティア会長は

指摘している。

西日本豪雨被災事業者へ支援金

今年7月に発生した西日本豪雨により大きな被害を受けた整備事業者を支援するため、日本自動車機械工具協会(柳田昌宏会長)は、日本自動車整備振興会連合会が京都、岡山、広島、愛媛、福岡の1都道府県が下回ったのに対し、上回ったのは41.9%減の千葉など34都道府県が下回った。一方の前年比は31.4%減の岩手などを筆頭に下回った。

一方の前年比は31.4%減の岩手などを筆頭に下回った。

一方の前年比は31.4%減の岩手などを筆頭に下回った。